

事業番号	10 04 20	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	県営林経営費 生産物処分事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	森林づくり推進課	
	施策の総合的展開	1-4森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 3多様な森林の整備の促進			E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針				実施期間	S47 ~	
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	持続的かつ自立した林業経営を図るため、伐期の多様化や適地適木による多様な森林の造成を行うとともに、新たな課題や要請に対応することにより、「地方林業の経営に模範を示し、もって林業の振興発展に寄与する」という県営林の目的の高度発揮を目指す。 成果目標 県内素材生産量 H23:329千m ³ → H29:610千m ³						
現状 (予算編成時)	県営林の森林資源は、伐期に至らない林分がほとんどで、間伐等の保育作業が必要である。他方、森林資源は確実に成熟しつつあることから、間伐材の販売を通じて収入の確保を図りつつ、将来の伐期に備えた施業を行っている段階である。 また、皆伐を見据えた更新のあり方や、オフセット・クレジット制度への対応など、時代の要請に応じた課題に積極的に対応している。 H28見込 県営林間伐面積 400ha 県営林生産物処分材積 16,553m ³						
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 時代背景や経済動向などに左右されずに継続して模範的な林業経営を行うことが必要(県有林管理規則、県有林の管理等に関する規程、県営林の管理等に課する要綱)					県民との協働による実施:実施は困難
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)						
	第9次県営林管理経営計画(H24~28)に基づく間伐面積2,000ha及び生産物処分材積71,265m ³ を達成するため、400haの間伐実施、16,553m ³ の材積を目標とする。						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H28実施内容		H28		
					(補正前)	(2月補正)	(補正後)
	立木処分事業	直接	県営林から生産される林産物の販売を行い、自主財源の確保を図る		5,315		5,315
	資源量(収穫)調査委託	直接	資源量を把握し、経費の算出及び財産の評価を行うための調査委託料		2,754	-2,000	754
	県有林オフセット・クレジット創出事業	直接	県有林の整備により吸収されたCO2をクレジット化し、企業等との連携による森林整備を促進する		1,000		1,000
			合計		9,069	-2,000	7,069
事業コスト	区分(単位:千円)				26年度	27年度	28補正後
	予算額	前年度繰越					
		当初予算			5,841	6,476	9,069
		補正予算			-1,100		-2,000
		合計(A)			4,741	6,476	7,069
	Aの財源	一般財源					
		県債					
		国庫支出金					
		その他			4,741	6,476	7,069
	決算額(B)			3,068	3,037		
概算人件費	職員数(人)			0.80	0.80	0.80	
	概算人件費(C)			6,606	6,606	6,606	
	概算事業費(B(A)+C)			9,674	9,643	13,675	
要求からの主な変更点				要求どおり			
成果目標の達成状況							
項目	H26末	H27末	H28			H29目標	
			目標	成果	達成状況		
県営林間伐面積(ha)	194	400	400				
県営林生産物処分材積(m ³)	12,119	14,534	16,553				